

前期基本計画 平成27年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 07 効率的な汚水処理施設の整備

施 策 : 01 環境にやさしく快適な下水道の整備

施策担当職・氏名 | 下水道課総括主査 舘澤俊幸

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

・下水道の整備推進が図られることで、住民の衛生的で快適な暮らしの確保及び公共用水域の水質保全が図られている状態です。

・浄化槽の普及促進が図られることで、環境衛生が向上するとともに公共用水域の水質汚濁が防止されている状態です。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単 位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着持っている人の割合 単 位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	4 年 後
1	1924 滝沢市浄化槽設置整備補助事業 浄化槽設置基数 単 位 基	目 標 値	25	40	40	70	50	50	50
		実 績	58	0	-	-	-	-	-
2	4921 滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業 整備人口 単 位 人	目 標 値	8,743	8,868	8,956	9,044	9,132	9,166	9,166
		実 績	8,780	0	-	-	-	-	-
3	13793 下水道整備事業(汚水) 整備区域内人口 単 位 人(累計)	目 標 値	33,929	34,812	36,198	36,610	37,022	37,434	37,434
		実 績	34,400	0	-	-	-	-	-
4	13794 北上川上流流域下水道建設負担金 整備区域内人口 単 位 人	目 標 値	33,929	34,812	36,198	36,610	37,022	37,434	37,434
		実 績	34,400	0	-	-	-	-	-
5	13795 下水道維持管理事業 水洗化人口 単 位 人(累計)	目 標 値	30,270	31,835	33,227	33,798	34,343	34,889	34,889
		実 績	31,549	0	-	-	-	-	-

前期基本計画 平成27年度 施策方針書

政策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な污水处理施設の整備

施策：01 環境にやさしく快適な下水道の整備

施策担当職・氏名 下水道課総括主査 館澤俊幸

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

「滝沢市污水处理実施計画」に基づき整備促進を図っており、平成25年度末現在において、污水处理人口44,154人、人口普及率79.8%となっています。景気の低迷等の影響で、民間開発区域や区画整理区域の整備や入居が計画より遅れているほか、市施行分についても国道4号拡幅関連の巣子地区などの工事が他工事との調整などで少し遅れ気味となっており、污水处理人口普及率が目標を下回っています。平成25年度に新たに小岩井地区24haを事業計画区域に編入し、平成26年度から工事に着手しており、今後は普及率向上が加速される見込みです。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

公共下水道事業については都市整備局所管の社会資本整備総合交付金を、浄化槽設置整備事業については污水处理施設整備交付金をそれぞれ活用することとしていますが、国からの交付金満額確保が一転して厳しい状況となっており、また資材や人件費の高騰・消費税増税・入札不調など、今後の事業の進捗に対し悪影響が予想されます。また、国の経済対策は市民への景気好転には至らず、少子高齢化などの影響もあり、下水道や合併処理浄化槽などへの切替費用が無いなど経済的理由による接続率の低下が懸念されており、これらの多様化する住民ニーズの変化への対応が求められています。

(3) 基本施策との関連性

污水处理施設の整備を促進することにより、政策にある「ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します」の実現が図られるものと考えます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- 平成26年度に策定した「污水处理実施計画」に基づき、公共下水道事業及び合併処理浄化槽設置整備事業により、污水处理の整備を推進します。
- 公共下水道については、平成25年度に作成した「長寿命化計画」に基づき、老朽化施設の長寿命化対策を進め、下水道施設の事故発生や機能停止を未然の防止、施設の維持管理コストの最適化を推進します。また、下水道施設の耐震化を進めるため、地震対策計画策定を策定し、順次耐震化を推進します。
- 合併処理浄化槽については、市補助分の嵩上げにより普及促進を図るほか、放流先の確保について、市道管理者の協力を得て、道路事業としての側溝整備を推進します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題

- 「污水处理実施計画」に基づく下水道事業計画の変更
- 下水道事業計画変更のための、地域毎に説明会の開催
- コスト縮減に向け、長寿命化計画、地震対策計画の推進
- 合併処理浄化槽普及促進のための、助成制度の周知
- 下水道への接続促進のための助成制度の周知

(3) 基本計画内方針及び平成27年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- 国道4号拡幅工事及び滝沢市交流拠点複合施設整備に関連する公共下水道整備は、他事業との整合を図る必要があるため、最優先とします。
- 収入確保やコスト縮減を図るため、「污水处理実施計画」に基づく整備、「長寿命化計画」・「地震対策計画」の推進を同じく最優先に位置づけます。

